

記入例

第60回（令和4年度）北海道優良米生産出荷共励会 推薦調書
「省力化移植栽培部門」・個人の部 うるち米

推薦者 〇〇地区米麦改良協会 会長理事 〇〇 〇夫 印
調書の内容は誤りのないことを確認した
振興局 農業改良普及センター 所長 〇〇 〇平 印
検査（出荷）実績を証明する
農産物検査員 JA〇〇農産物検査員 〇〇〇雄 印

1 対象者 (ふりがな) ほっかいどうまるまるぐんまるまるまちあざいちばんにじゅうさんごう
住所 北海道〇〇郡〇〇町字〇〇1番23号
(ふりがな) まるやま まるじ
氏名 〇山 〇次

2 経営状況 耕地面積 25.2 ha (注) 田・畑などの合計面積

年次 項目	令和2年	令和3年	令和4年	3カ年の平均
水稻作付面積	12.1ha (13.3)	12.1ha (13.3)	11.5ha (12.4)	11.9ha (13.0)

注) 加工用米、新規需要米、政府備蓄米を除く作付面積。()内はこれらを含む作付面積。

3 家族の就業状況（令和4年12月 〇日現在）

本人・続柄	年	性別	令和2年	令和3年	令和4年
本人	49	男	○	○	○
妻	46	女	○	○	○
父	77	男	○	-	-
長男	21	男	-	-	○
(備考) 長男R4年新規就農					

4 耕種概要

(1) 作付品種と栽培法(※省力化移植栽培：高密短、密播中苗、成苗疎植栽培)

品種名(用途)		年次	令和2年	令和3年	令和4年
作付面積 (全体)	品種名	きらら397	4.0ha	2.4ha	1.8ha
		ななつぼし	6.3ha	6.2ha	5.2ha
		ゆめぴりか	1.0ha	1.5ha	2.5ha
		その他	0.8ha	2.0ha	2.0ha
	合計		12.1ha	12.1ha	11.5ha
※うち省力化移植栽培面積	品種名	えみまる	0.8ha	2.0ha	2.0ha
		ななつぼし	ha	0.5ha	0.8ha
	合計		0.8ha	2.5ha	2.8ha

注) 同一年において、複数の省力化移植栽培がある場合は、表を追加して、それぞれについて記載する

注1) 加工用米、新規需要米、政府備蓄米を除く作付面積を記入する。

注2) 品種名の後の用途は、一般または業務とする。

(2) 堆厩肥等の有機物施用と透排水性改善 (省力化移植栽培のみ)

項目		年次			
		令和2年	令和3年	令和4年	
堆厩肥施用量kg/10 a		1,000kg	400kg	kg	
稲わらの処理法	前年産	春鋤込	%	%	10%
	当年産	搬出	%	%	%
		秋鋤込	%	%	90%
土壌改良材kg/10 a		資材名	ケイカル	ケイカル	ケイカル
		施用量	100kg	120kg	120kg
透排水性改善		心土破碎	心土破碎	心土破碎	
(備考) 心土破碎とあわせて、毎年溝切りも実施					

注) 「稲わらの処理法」の欄の%は、当該栽培法内における割合。

土壌改良材については、具体的製品名を書く。

(3) 播種時期と播種量 (省力化移植栽培のみ)

項目	年次		
	令和2年	令和3年	令和4年
育苗形式名	高密短	高密短	高密短
播種時期	4月28日～4月29日	4月29日～4月30日	5月1日～5月2日
播種量(催芽籾)	580 ml/箱	500 ml/箱	520 ml/箱
(備考)			

注) 同一年において、複数の省力化移植栽培がある場合は、表を追加して、それぞれについて記載する

(4) 移植時期と栽植密度 (省力化移植栽培のみ)

項目		年次		
		令和2年	令和3年	令和4年
育苗形式名		高密短	高密短	高密短
移植時期		5月21日～5月22日	5月19日～5月20日	5月19日～5月20日
栽植密度	畦幅 × 株間	33 cm × 13 cm	33 cm × 13 cm	33 cm × 13 cm
	m ² 当たり株数	23.3株/m ²	23.3株/m ²	23.3株/m ²
(備考)				

注) 同一年において、複数の省力化移植栽培がある場合は、表を追加して、それぞれについて記載する

(5) 施肥 (省力化移植栽培のみ)

項目		令和2年			令和3年			令和4年		
		N	P	K	N	P	K	N	P	K
施肥 (kg/10 a)	全層	5.6	5.6	5.6	5.6	6.0	6.0	6.0	6.8	6.0
	表層									
	側条	2.4	2.4	2.4	2.5	4.0	3.0	2.3	3.7	3.8
追肥(kg/10 a)										
(備考)										

注) 同一年において、複数の省力化移植栽培がある場合は、表を追加して、それぞれについて記載する

注) 肥料銘柄(肥効調節型等)、倒伏程度を備考欄に記載する。

(6) 収穫乾燥方式 (該当項目の・を○で囲む)

- ・ 連続乾燥 (年～ 年)
- ・ 一時乾燥→貯留→仕上げ乾燥 (平成27年～令和4年)
- ・ 遠赤外線乾燥 (年～ 年)
- ・ 除湿乾燥 (年～ 年)

5. 産米出荷成績

項目		年次	令和2年	令和3年	令和4年	3カ年の合計
総出荷数量 ①		注)1	70 俵	215 俵	235 俵	520 俵
一等米数量 ②		注)1	70 俵	215 俵	235 俵	520 俵
一等米比率 ②/①			100 %	100 %	100 %	100 %
内 高 品 質 米	精米タンパク質含有率6.8%以下仕分対象品種出荷数量		俵	45 俵	70 俵	115 俵
	精米タンパク質含有率6.8%以下	注)3	俵	14 俵	28 俵	72 俵
	精米タンパク質含有率6.8%以下出荷率		%	31 %	40 %	62 %

- 注) 1 ①・②は省力化移植栽培で栽培されたものとし、加工用米及び規格外米、新規需要米・政府備蓄米を除く出荷数量及び一等米比率。
 ただし酒造好適米は「特等」以上を一等米扱いとする。
 2 俵数は60kgに換算のこと。(一般栽培に組み入れた場合は、収穫・調製時の概数値でも可とする)
 3 高品質米出荷数量は、仕分基準に基づく実績数量とする。ただし、「ゆめびりか」は精米タンパク質含有率7.4%以下、「おぼろづき」は精米タンパク質含有率7.9%以下を高品質米出荷数量とする。

6. 病虫害防除の実施状況

病虫害の発生状況を的確に把握し、発生対応型防除に努めている。

①いもち病に関しては、ブラスタムの活用およびほ場の見回りを実施。

②カメムシに関しては、すくい取りによるモニタリングを利用。

7. 省力化移植栽培に当たっての創意工夫のある取り組み等 (生産安定化や高品質化等の取り組みも含む、具体的に記載して下さい。)

- (1) 通常である中苗マット苗の播種作業とは間隔を空けて、それぞれ最適な苗質で移植できるよう心掛けている。
- (2) 苗丈が短めとなるため、秋のうちから十分にほ場の乾燥に努めるとともに、耕起整地作業においては、特に均平化と碎土率向上を重視し実施している。
- (3) 移植後はすぐに入水して、植傷み防止を心掛けるとともに、初期の水管理には天候に応じてきめ細やかに対応している。
- (4) 環境保持の一環から、特に水田からのメタンガス排出抑制を意識し、通常の乾田化対策は元より特に作期中の中干しでは稲の生育を勘案しつつ、できるだけ長めに実施している。

8. 省力化移植栽培に係わる経営的な視点（具体的に記載して下さい。）

- (1) 箱使用枚数や育苗期間の短縮で、コスト低減と労力軽減が図られた。
 - (2) 播種機の共同利用により、機械への投資額も減っている。
 - (3) 春先の労働競合が軽減されるため、野菜等を取り入れた複合経営の取り組みが容易になった。
 - (4) 一般移植栽培との比較では、食味は及ばないものの、収量・品質はほぼ変わらず、園芸作物からの収入と併せ所得が向上した。
 - (5) 今後の水田経営の維持安定に向けて、本年より薬剤のドローン防除や無人ロボットトラクター導入に向けた試験を開始した。

9. 添付書類

- (1) 令和4年産米栽培履歴

以上

上記内容について、第60回（令和4年度）北海道優良米生産出荷共励会実施要領に基づき、一般社団法人北海道農産協会へ提出する事を認めます。

入賞発表、優良事例報告書、会報、ホームページ等で優良事例として生産者の氏名他推薦調書の内容を広報することを認めます。

令和4年 月 日

住所

氏名 _____ 印